

鉄鋼流通業界の動向

LEAD THE VALUE

2018年9月

株式会社 三井住友銀行
コーポレート・アドバイザー本部 第二部
企業調査部

- 本資料は、情報提供を目的に作成されたものであり、何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。
- 本資料は、作成日時点で弊行が一般に信頼できると思われる資料に基づいて作成されたものですが、情報の正確性・完全性を弊行で保証する性格のものではありません。また、本資料の情報の内容は、経済情勢等の変化により変更されることがありますので、ご了承ください。
- ご利用に際しては、お客さまご自身の判断にてお取扱いくださいますようお願い致します。本資料の一部または全部を、電子的または機械的な手段を問わず、無断での複製または転送等することを禁じております。



三井住友銀行

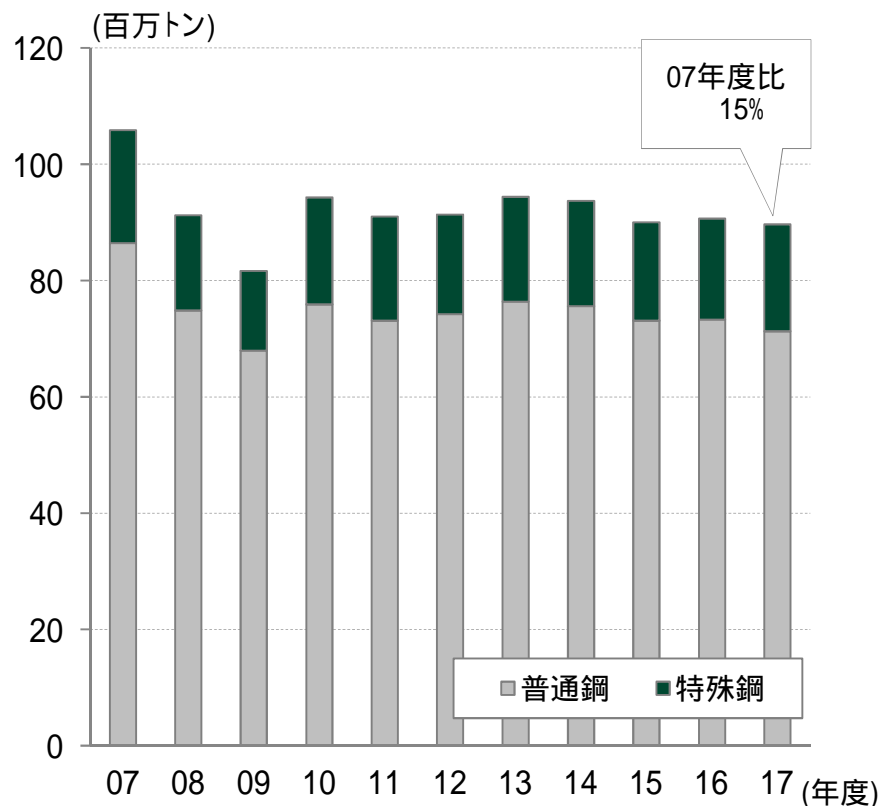
1. 国内鉄鋼市場の動向	2
2. 鉄鋼流通業界の特徴	6
3. 鉄鋼流通業界を取り巻く環境の変化	8
4. 鉄鋼流通業者の動向	9
5. 総括	10
Appendix.	14

1. 国内鉄鋼市場の動向 ~ 鋼材需要

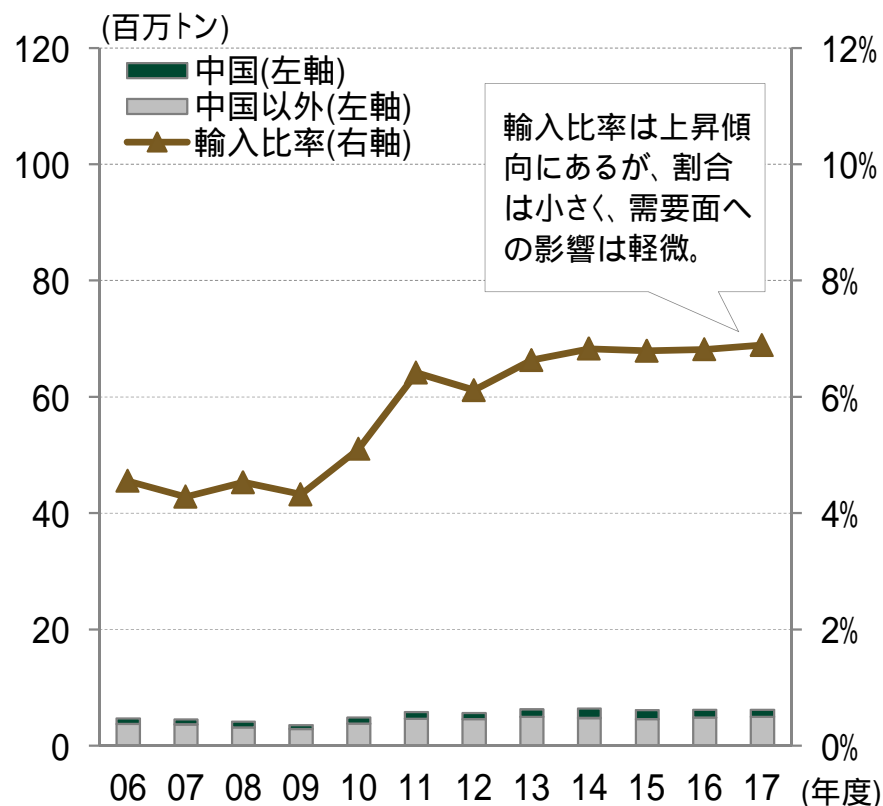
鋼材は様々な用途に使用されますが、一般的に建設向けや自動車向けの割合が高いとされています。また、鉄鋼流通業者は基本的に内需を主体に事業を展開している点が特徴です。

鋼材の国内出荷量は、リーマンショックを経た09年度に07年度比 2割減少した後回復が見られましたが、建設需要は低位である他、自動車メーカーによる海外生産シフト等もあって、17年度は90百万トンと同 15%の水準に止まっています。今後については、東京五輪関連の投資増等もあり19~20年頃までは堅調に推移すると見られますが、中長期的にはユーザーの一段の海外シフトや人口減等を背景に市場縮小は避け難く、鉄鋼流通業者においても取扱量の低下が懸念されます。

鋼材の国内出荷量推移



(ご参考)日本の鋼材輸入量推移



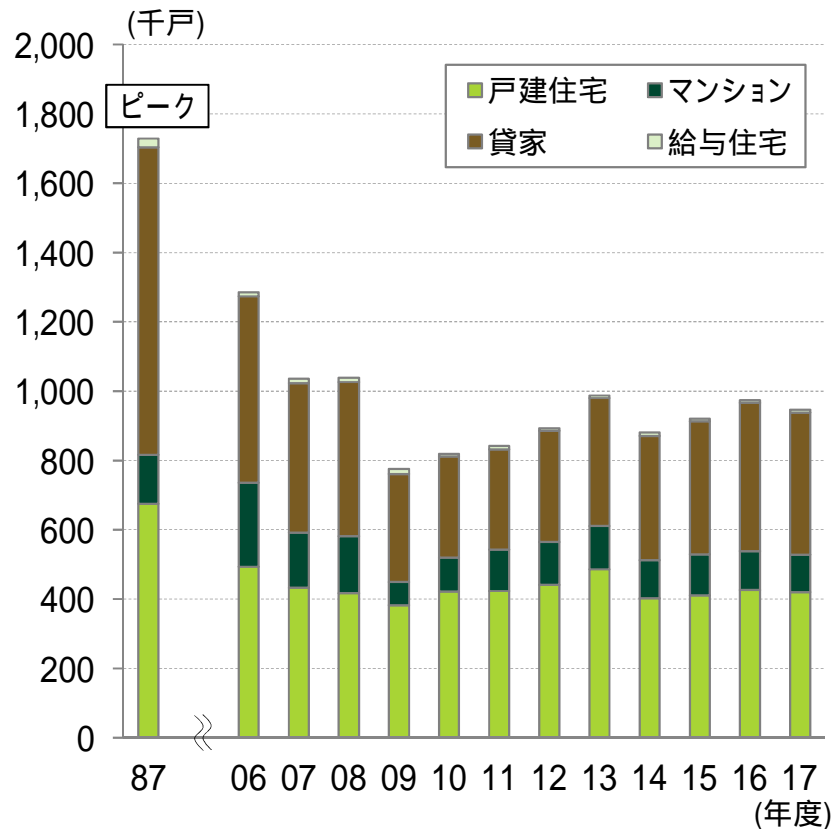
(出所)経済産業省「生産動態統計」、財務省「貿易統計」を基に弊社作成

(ご参考)需要先の動向 国内建設市場

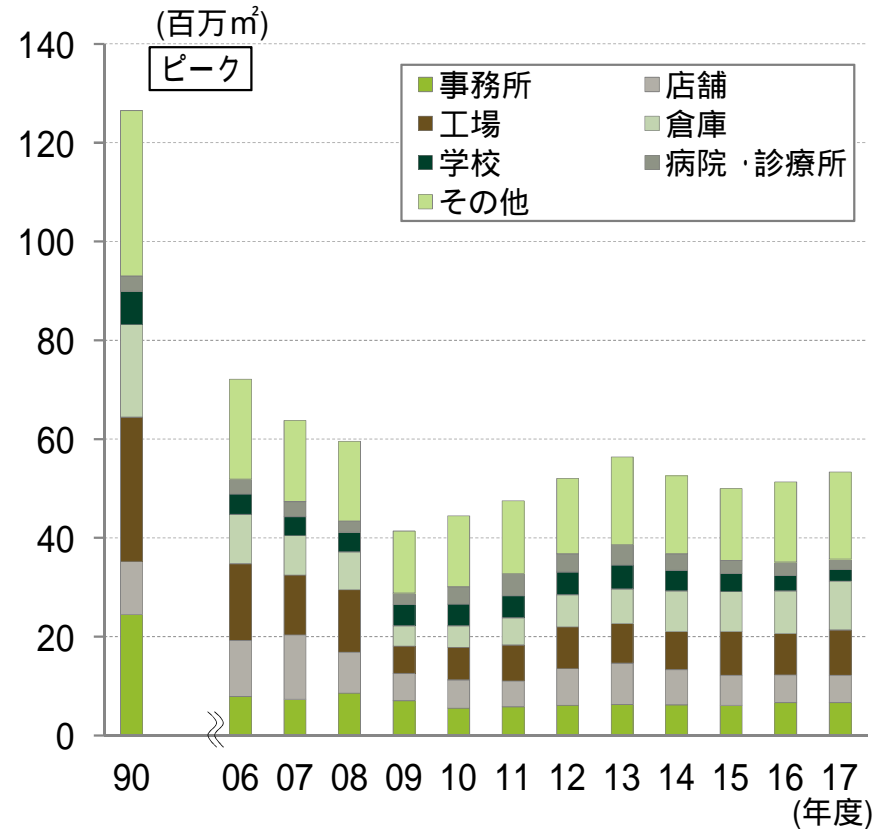
建築着工の動向を見れば、住宅・非住宅共にリーマンショック後の落ち込みからは回復しましたが、リーマンショック前と比べれば依然低水準に止まっています。

今後については、目先は東京五輪関連や都市部再開発等の投資増も期待されるなど堅調な推移が見込まれるものの、中長期的には人口・世帯数の減少という構造的な要因から、住宅・非住宅共に落ち込む見通しです。

新設住宅着工戸数推移



非住宅着工床面積推移



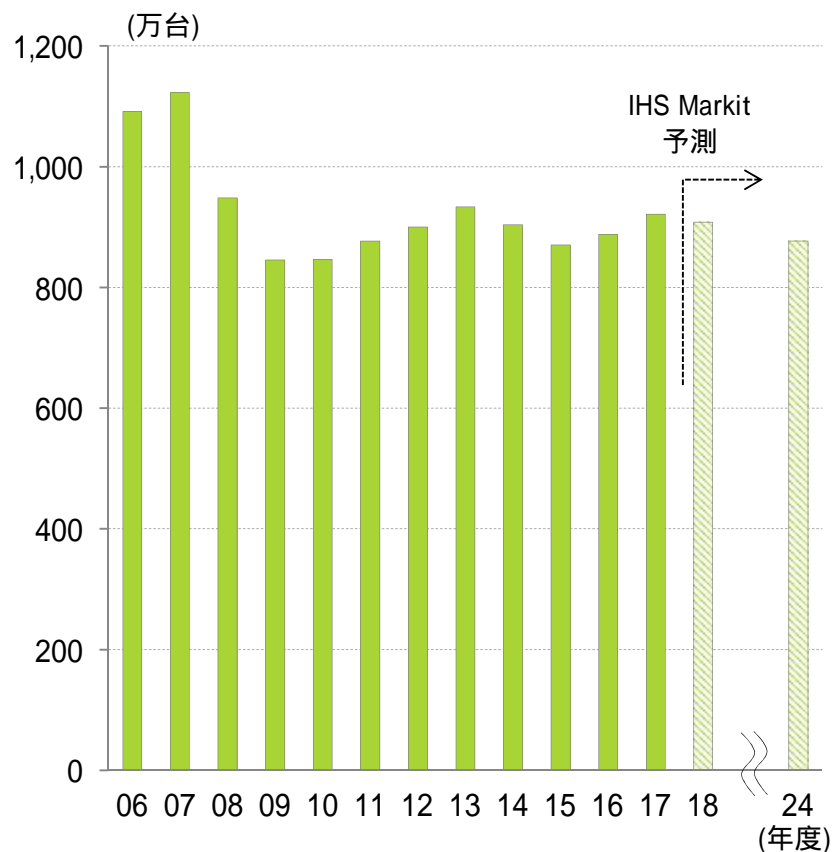
(出所)国土交通省「建築着工統計」を基に弊社作成

(ご参考)需要先の動向 国内自動車市場

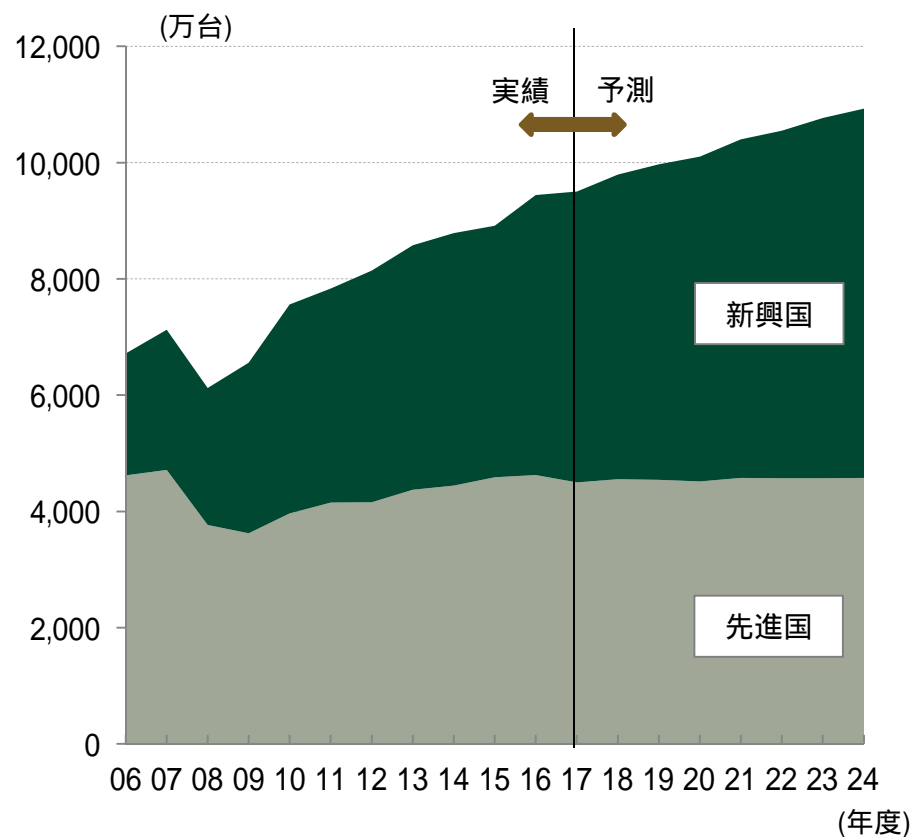
国内自動車生産台数は07年度にピークとなった後、リーマンショックを経てやや持ち直しの動きも見られましたが、海外生産シフト等もあって近時は頭打ちで推移しています。

今後、世界ベースの自動車生産台数は新興国を中心に伸長が見込まれますが、国内に限れば内需減や一段の海外シフト等から緩やかな減少が想定されます。

国内自動車生産台数推移



(ご参考)世界自動車生産台数予測

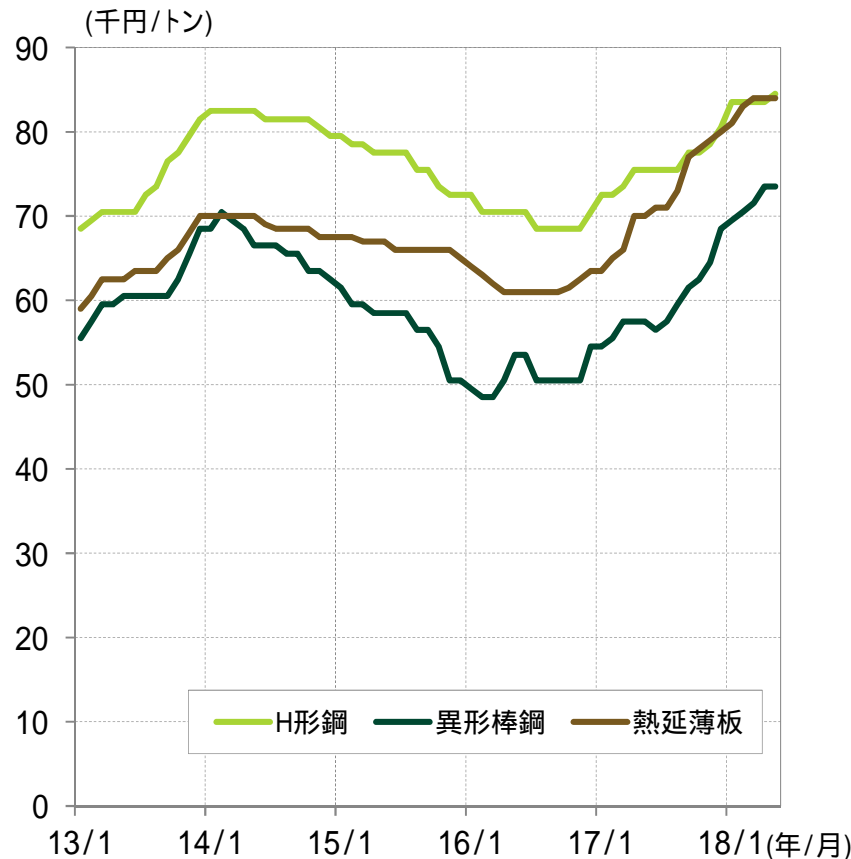


(出所) IHS Markit 'Brand Segment LV Production Forecast', を基に弊行作成

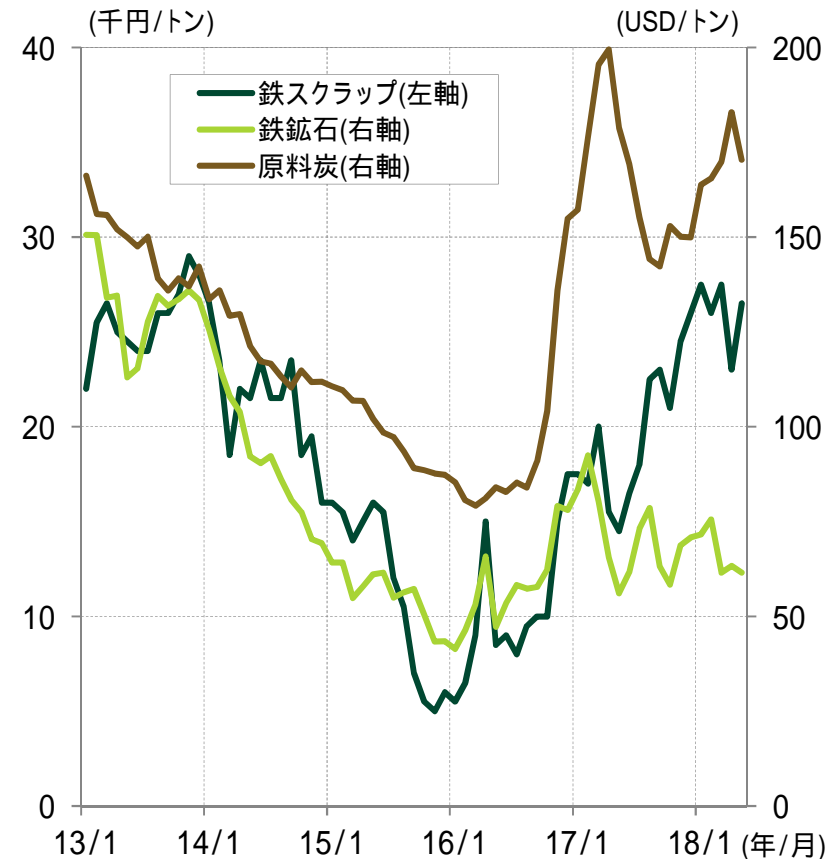
1. 国内鉄鋼市場の動向 ~ 価格

中国の景気減速等を背景に15年にかけて原材料価格は下落傾向で推移し、これを受けて鋼材価格も低下が進みました。しかしながら、16年以降は、中国政府の景気刺激策により需要が増加した一方で、同国での炭鉱の操業規制が実施されて需給がタイト化し、原材料価格は反転しています。これを受け、国内鉄鋼メーカーや鉄鋼流通各社では製品価格の値上げを進めており、鋼材価格も上昇してきています。

国内鋼材価格(店売り)推移



原材料価格推移



(出所)鉄鋼新聞社ホームページ(過去の市中相場)、財務省「貿易統計」を基に弊社作成

2. 鉄鋼流通業界の特徴 ~ 地域別受注量

国内鋼材は基本的に地産地消で、地域毎に特徴が異なります。例えば、中部は自動車用、中国・四国及び九州は造船用の比率が高くなっており、その他地域では建設用が多くを占めています。

地域別の鋼材受注量及び用途別シェア

地域(注1)	17年度鋼材受注量 (構成比)	普通鋼鋼材の用途別受注量シェア(16年度)(注2)			
		建設	自動車	造船	その他
北海道・東北	3,428千トン (5.6%)	建設 (65.9%)	自動車 (18.0%)	造船 (4.8%)	その他 (11.3%)
関東	17,277千トン (28.3%)	建設 (50.6%)	自動車 (23.8%)	産業機械 (6.1%)	その他 (19.5%)
北陸	2,117千トン (3.5%)	建設 (55.5%)	産業機械 (17.8%)	自動車 (9.6%)	その他 (17.1%)
中部	13,343千トン (21.9%)	自動車 (61.2%)	建設 (23.3%)	電気機械 (5.2%)	その他 (10.3%)
近畿	12,793千トン (21.0%)	建設 (44.7%)	産業機械 (11.3%)	電気機械 (8.7%)	その他 (35.3%)
中国・四国	7,104千トン (11.6%)	造船 (53.7%)	自動車 (19.4%)	建設 (18.1%)	その他 (8.8%)
九州	4,929千トン (8.1%)	造船 (31.8%)	建設 (26.6%)	自動車 (25.1%)	その他 (16.5%)

(注1)地域分類は以下の通り(次頁以降も同様)。

北海道・東北：北海道、青森、秋田、岩手、宮城、山形、福島

関東：茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨、長野

北陸：新潟、富山、福井、石川

中部：岐阜、静岡、愛知、三重

近畿：滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山

中国・四国：鳥取、島根、岡山、広島、山口、徳島、香川、愛媛、高知

九州：福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄

(注2)用途別受注量を最終用途の判明しているものの合計で除して算出。17年度は未公表。

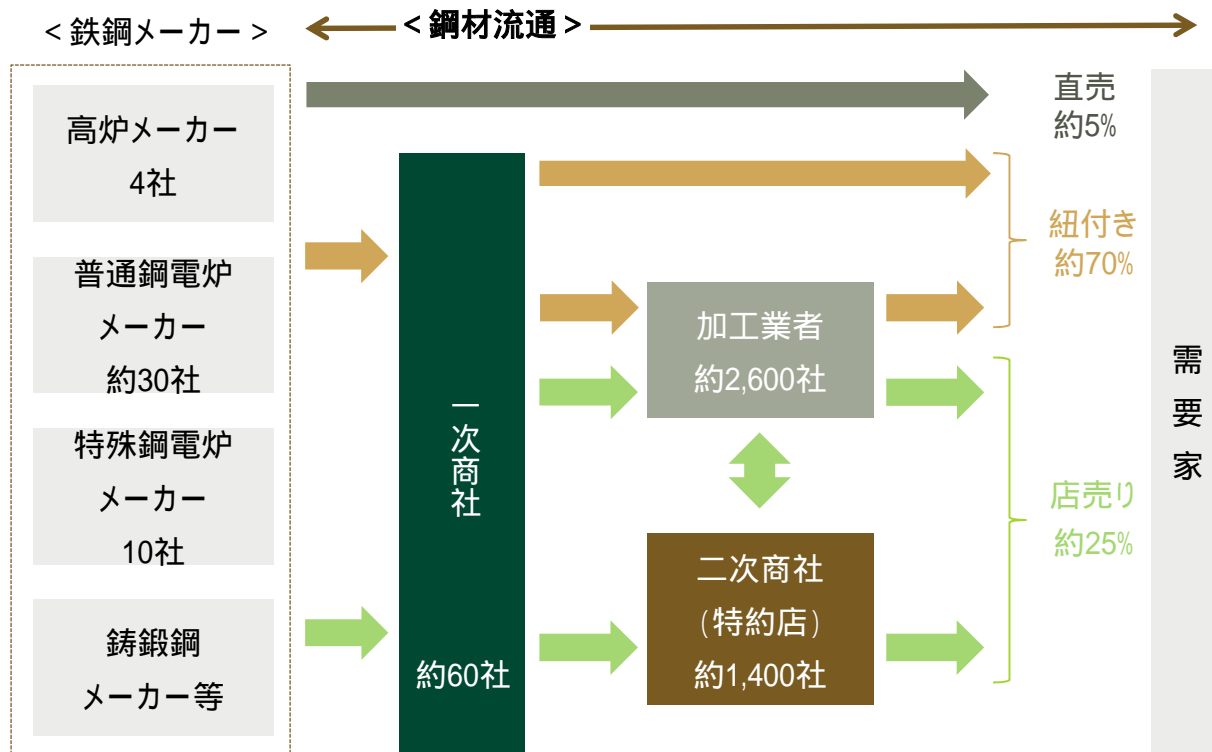
(出所)経済産業省「生産動態統計」を基に弊社作成

2. 鉄鋼流通業界の特徴 ~ 鋼材の国内流通構造

国内の鋼材流通は、殆どが商社を介する形となっています。需要家の生産計画に沿って事前に鋼材の所要量等を取り決める自動車や造船向けでは「紐付き」を主体とする一次商社から直接ユーザーへ納入される一方、必要なタイミングで都度鋼材を調達する建設向けでは「店売り」を主体とする二次商社を経由する格好となっています。

「店売り」では、販売の都度ユーザーと価格交渉を行う構造となっています。こうしたなか、比較的規模の小さい流通業者に対しユーザーのバイイングパワーの方が強い傾向にあるため、材料市況上昇時の製品価格への転嫁が進み難しくなっています。

鋼材の国内流通構造



鉄鋼流通業者の取引形態別の特徴

	紐付き	店売り
価格決定	数回/年	都度
在庫リスク	無	有
マージン	安定	変動大
主な需要家	自動車 造船	建設

(出所)経済産業省「鉄鋼業の現状と課題」を基に弊社作成

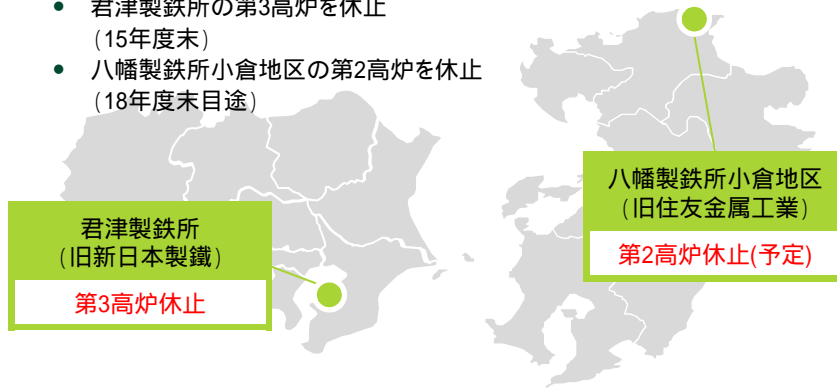
3. 鉄鋼流通業界を取り巻く環境の変化

14年以降、鉄鋼流通業者の調達先に当たる鉄鋼メーカーでは、需給ギャップ改善等を目的に工場休止等により生産能力削減を進める動きが活発化しています。

鉄鋼メーカーは今後も能力削減を進める見通しで、鉄鋼流通業者にとっては、仕入価格の上昇圧力が強まることが想定されます。加えて、工場休止地域に立地する流通業者は取扱量の減少を余儀なくされる可能性もあります。

新日鐵住金

- 君津製鉄所の第3高炉を休止
(15年度末)
- 八幡製鉄所小倉地区の第2高炉を休止
(18年度末目途)



日新製鋼

- 衣浦製造所の製鋼工程を休止
(15年末)
- 呉製鉄所の第2高炉休止
(19年末目途)



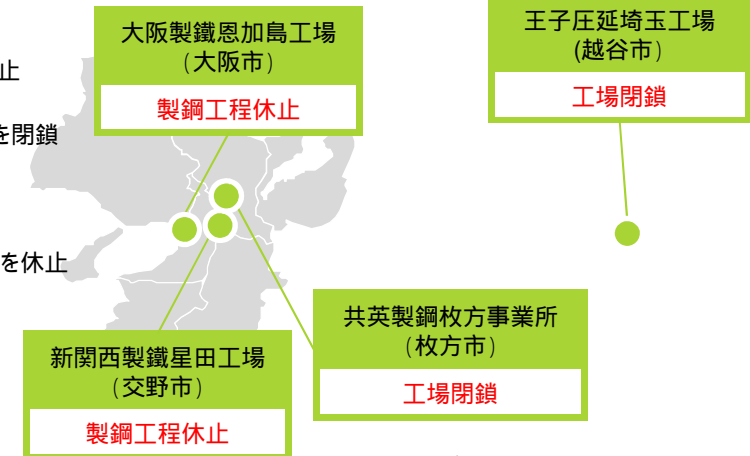
神戸製鋼所

- 神戸製鉄所の高炉を休止
(17年度目途)



電炉メーカー各社

- 新関西製鐵、星田工場の製鋼工程を休止
(15/4月)
- 王子庄延(王子製鉄子会社)、埼玉工場を閉鎖
(15/12月末)
- 共英製鋼、枚方事業所大阪工場を閉鎖
(16/3月末)
- 大阪製鐵、大阪恩加島工場の製鋼工程を休止
(16/3月末)



(出所)各社プレスリリースを基に弊社作成

4. 鉄鋼流通業者の動向

鉄鋼メーカーによる生産能力削減等の動きを受け、鉄鋼建材の分野では、バイイングパワーの強化等を狙った、系列を跨いだ一次商社同士の大型再編が起っています。また、地域補完やユーザーによる販路拡大、加工分野の強化等を目的とした一次商社と二次商社の再編事例も増加しています。

一次商社による主要な再編事例(14年以降)

買収・出資 パターン	主要な再編事例		狙い
	時期	内容	
一次商社 × 一次商社	14/11月	メタルワン建材と三井物産スチールの建設用鋼材事業及び製鋼原料事業が統合し、 <u>三井物産メタルワン建材(現エムエム建材<注>)設立。</u> (注)資本構成はメタルワン50%、三井物産スチール50%。	<ul style="list-style-type: none"> 規模拡大によるバイイングパワー強化 在庫保管や物流等の効率化、営業拠点の統廃合などによる固定費圧縮 得意分野や地域の補完 等
	16/1月	伊藤忠丸紅テクノスチールと住商鉄鋼販売及び住友商事子会社3社の鉄鋼建材事業が統合し、 <u>伊藤忠丸紅住商テクノスチール(注)設立。</u> (注)資本構成は伊藤忠丸紅鉄鋼66.7%、住友商事33.3%。	
一次商社 × 二次商社	15/6月	阪和興業が建設用鋼材卸売、及び鉄骨・鉄筋工事を手掛ける <u>大鋼産業(大阪府大阪市)</u> を買収。	<p>【一次商社側】</p> <ul style="list-style-type: none"> 二次商社の手掛ける即納・小口・加工等の獲得によるサービス面の強化 販売エリアの補完 ユーザーとの紐帯が強い二次商社からの的確なニーズ収集 <p>【二次商社側】</p> <ul style="list-style-type: none"> 鋼材調達や利幅の安定化 一次商社の信用力獲得 事業承継、事業再生
	16/3月	阪和興業が建設向け主体の鋼材卸売業者である <u>ダイサン(大阪府大阪市)</u> を買収。	
	16/10月	日鉄住金物産が建設向け主体の鋼材卸売業者である <u>三洋(鳥取県鳥取市)</u> を買収。	

(出所)各社プレスリリースを基に弊社作成

5. 総括

需要見通し

✓ユーザーの海外生産シフトの進展、人口・世帯数の減少

×

鉄鋼メーカーの方向性

✓更なる工場集約・閉鎖、事業者間の再編の進展

||

鉄鋼流通業者への影響

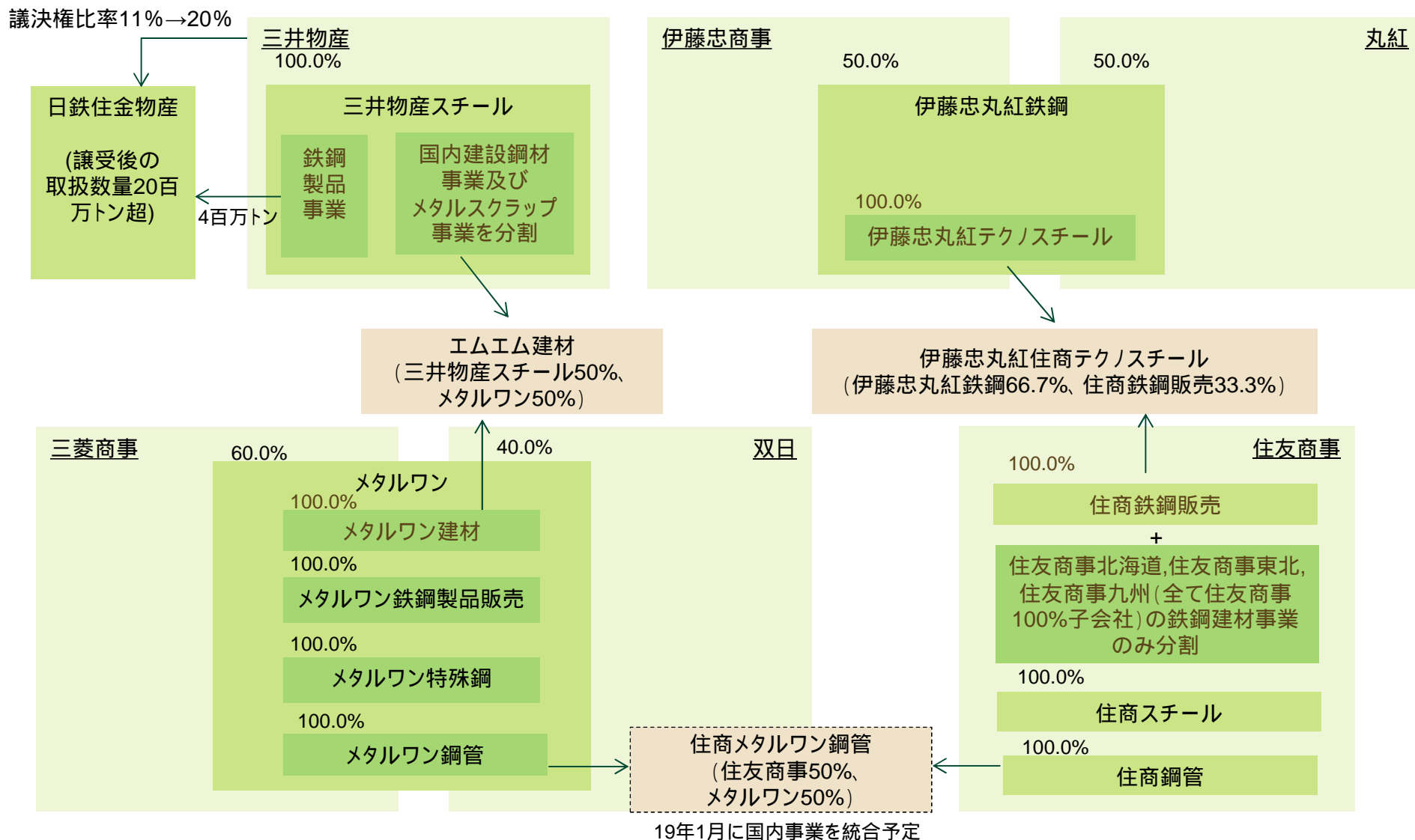
✓中長期的な取扱量の減少
✓鉄鋼メーカーからの価格圧力が増大する一方、価格転嫁は困難
✓鉄鋼メーカーの工場集約地域での取扱量減少

取扱量の維持・拡大、収益力強化に向け、
今後も鉄鋼流通業者による再編が継続する見通し

< 想定される切り口 >

- ✓ 販売地域の拡大
 - ✓ 取扱鋼種の拡充
 - ✓ 川下分野への進出・領域拡大
- +
- ✓ 後継者不在等を背景とする事業承継
 - ✓ 事業再生

(ご参考)一次商社同士の再編事例(14年以降)



(出所): 各社プレスリリースを基に弊行作成

(ご参考)一次商社と二次商社の再編事例(17～18年)

時期	買収・出資企業	被買収・被出資企業				買収・出資のポイント				
		企業名	所在地	業態	主な需要先	地域	鋼種	加工	販路	その他
18/3月	メタルワン	メタルワン西日本 メタルワン四国 メタルワン九州	広島県広島市 香川県高松市 福岡県福岡市	鋼材販売						グループ再編
17/12月	阪和興業	ジャパンライフ	東京都葛飾区	コンクリート製品向け金具製造	建設					
17/9月	JFE商事	新潟スチール 北陸スチール	新潟県三条市 石川県能美市	厚板加工	建設					グループ再編
17/9月	JFE商事 トーセン	三輪鉄建	青森県上北郡	胴縁加工	建設					
17/4月	阪和興業 JFE商事	近江産業	大阪府大阪市	コイルセンター	機械					再生支援
17/4月	神鋼商事	森本興産	大阪府大阪市	コイルセンター	建設					
17/4月	阪和興業	亀井鐵鋼	愛媛県松山市	鋼材卸売業	建設					
17/4月	阪和興業	山陽鋼材	広島県広島市	鋼材加工・卸売業	機械					
17/3月	豊田通商 豊通鉄鋼販売	オリエンタル鋼業 豊通鋼管 関東コイルセンター	富山県射水市 愛知県大府市 東京都青梅市	鋼材加工	建設・機械					グループ再編
17/1月	伊藤忠丸紅鉄鋼 阪和工材	MSSステンレスセンター (新潟事業のみ)	新潟県燕市	ステンレス加工	建設					

(出所)各社プレスリリースを基に弊行作成

(ご参考)一次商社と二次商社の再編事例(15～16年)

時期	買収・出資企業	被買収・被出資企業				買収・出資のポイント				
		企業名	所在地	業態	主な需要先	地域	鋼種	加工	販路	その他
16/10月	日鉄住金物産	三洋	鳥取県鳥取市	鋼材卸売業	建設					
16/9月	阪和興業	ステンレスパイプ工業	大阪府堺市	ステンレス溶接鋼管製造販売	建設・機械					再生支援
16/4月	阪和興業	松山資材	愛媛県松山市	鋼材卸売業	建設					
16/3月	日鉄住金物産	太陽シャーリング	広島県広島市	厚板加工	造船					
16/3月	日鉄住金物産	サカコー	香川県坂出市	厚板加工	造船					
15/12月	小野建	秋山寅吉商店	香川県丸亀市	鋼材卸売業	建設					
15/9月	佐藤商事	大東鋼業	神奈川県横浜市	鋼板シャーリング	自動車・機械					再生支援
15/9月	阪和興業	メタルテック	東京都墨田区	パンチングメタル製造販売	機械					事業承継
15/6月	阪和興業	ダイサン	大阪府大阪市	鋼材卸売業	建設					事業承継
15/3月	阪和興業	福岡鋼業	岡山県津山市	鉄鋼・同加工品卸、機械工具卸	建設					
15/3月	阪和興業	大鋼産業	大阪府大阪市	鉄鋼・同加工品卸、鋼構造物及び鉄筋工事業	建設					
15/2月	小野建	ナダコー	兵庫県神戸市	鋼材卸売業	建設					事業承継

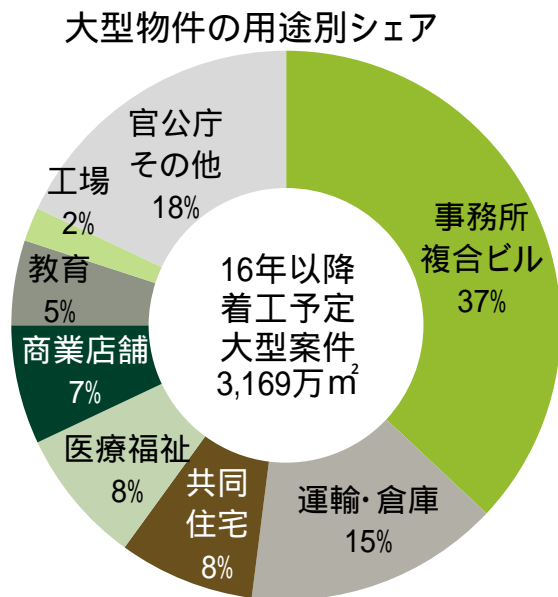
(出所)各社プレスリリースを基に弊社作成

Appendix.

今後予定される大型建設案件

東京五輪関連や都市再開発プロジェクト等の大型物件は関東(主に首都圏)が中心で、特に北海道・東北や北陸、中国・四国等の地方都市では案件が少なくなっています。

16年以降に着工予定の主な大型物件(10千㎡以上、16/3月末時点) (注)



地域	今後建設予定物件の床面積		建築物着工床面積構成比 (15年度)
	床面積	構成比	
北海道・東北	187万㎡	5.9%	12.1%
関東	2,014万㎡	63.6%	36.3%
北陸	57万㎡	1.8%	4.4%
中部	209万㎡	6.6%	13.0%
近畿	382万㎡	12.1%	14.7%
中国・四国	111万㎡	3.5%	8.2%
九州	209万㎡	6.6%	11.3%
全国計	3,169万㎡	100.0%	100.0%

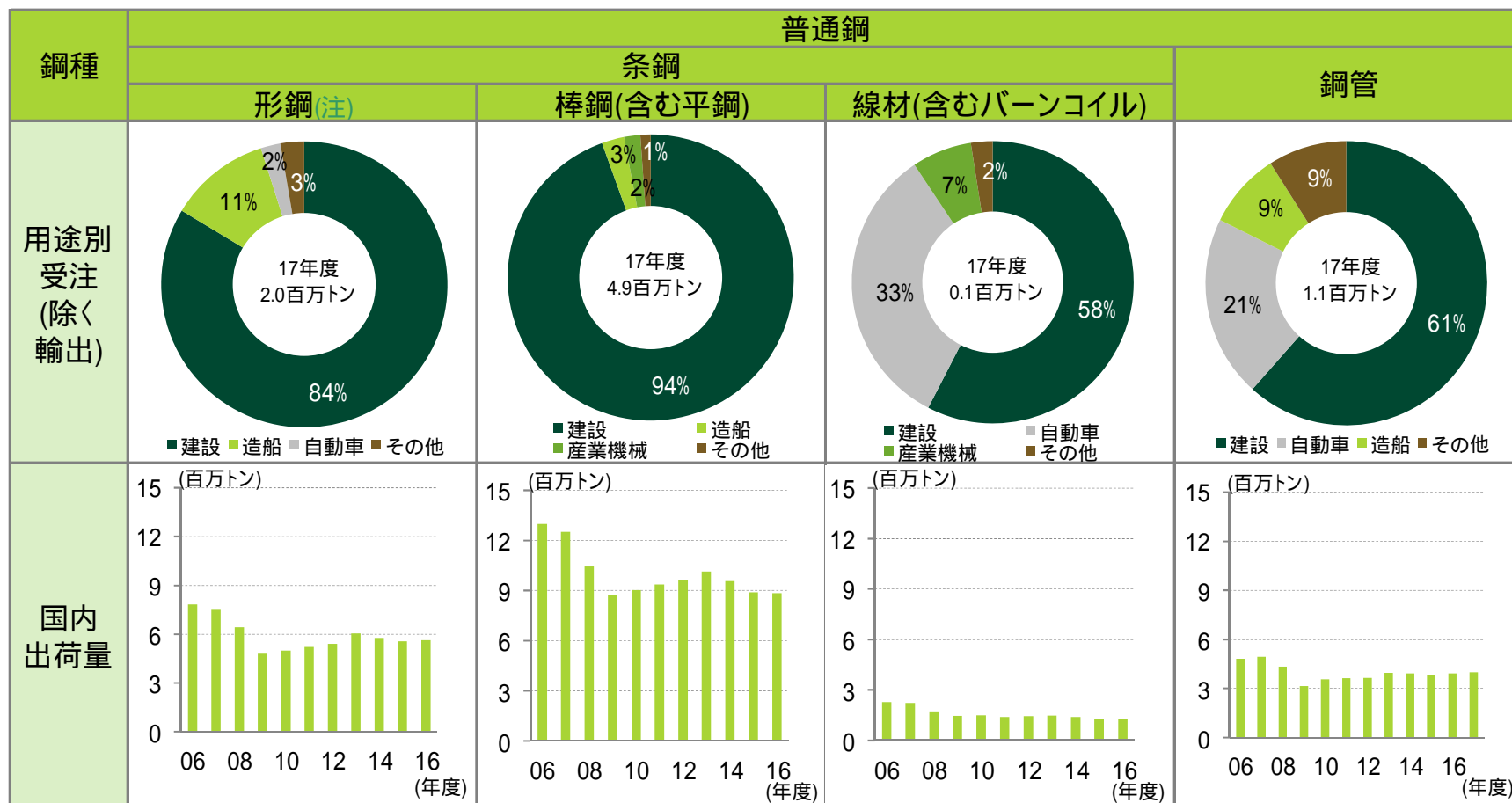
(注)各種報道を基に日本鉄鋼連盟により集計されたもの。全ての計画を網羅出来ていない他、集計後に延期
 或いは中止されたものが含まれる可能性あり。

(出所)国土交通省「建築着工統計」、日本鉄鋼連盟「鉄鋼需給四半期報」を基に弊社作成

鋼種別の動向

鋼種別に見れば、普通鋼のうち、条鋼については鉄骨・鉄筋やねじ類等として主に建設用として用いられる割合が多くなっています。

鋼種別の用途・出荷量推移



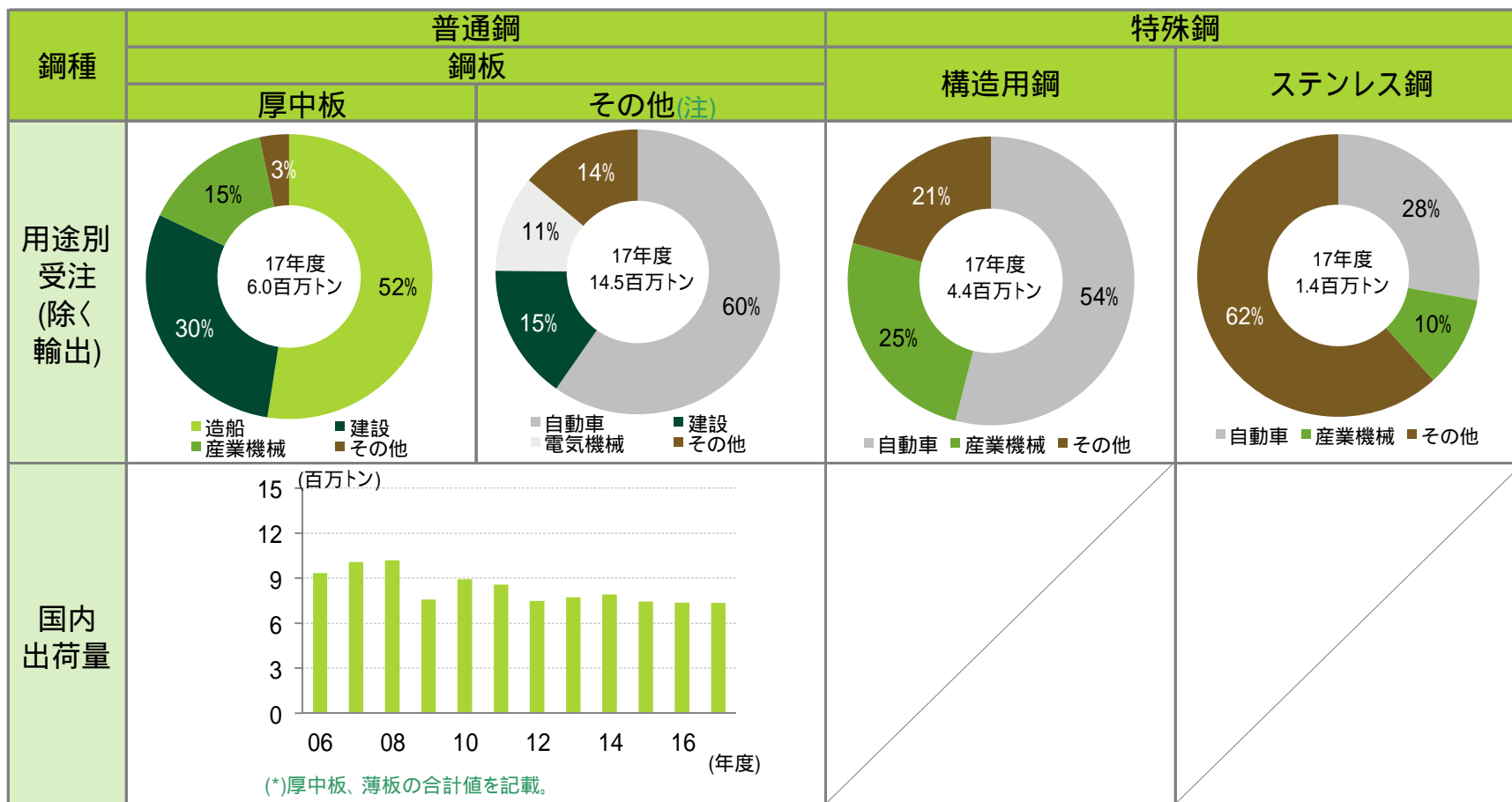
(注)大形形鋼(含むH形鋼)、中小形形鋼、軽量形鋼の合計。

(出所)経済産業省「生産動態統計」を基に弊社作成

鋼種別の動向

普通鋼のうち、鋼板は造船や自動車向け、特殊鋼については自動車や機械向けが多くの割合を占めています。

鋼種別の用途・出荷量推移



(注)熱延コイル、熱延薄板、冷延鋼板、冷延コイル、電気鋼板、ブリキ、亜鉛鉄板、その他表面処理鋼板の合計。

(出所)経済産業省「生産動態統計」を基に弊社作成

金属加工の種類による分類

金属の加工方法には様々な種類があり、専門メーカーの他、ユーザーによる内製、商社の加工部門等多数のプレーヤーが存在しています。また金属加工業界には、オーナー系の中小・零細企業が多数存在する点も特徴です。

金属加工の種類による分類

分類	定義	代表的な加工方法		関連団体	正会員数(注)
成形	熱や圧力を加えることで、金属材料の一部を除去することなく変形させる加工。	鋳造	砂型鋳造	日本鋳鍛鋼会	46社
			ダイカスト	日本ダイカスト協会	196社
		塑性加工	鍛造	日本鍛造協会	149社
			プレス加工	日本金属プレス工業協会	26社
			粉末冶金	日本粉末冶金工業会	36社
			押出加工		
伸線	線材製品協会	143社			
切削	金属材料から不要な部分を除去することで最終製品の形状に近づける加工。	切削加工	旋削		
			ねじ切り		
			穿孔		
		研削加工	研磨		
		切断	シャーリング	全国厚板シャーリング工業組合	195社
スリット	全国コイルセンター工業組合		177社		
接合	金属又は熱可塑性物質を用いて金属材料同士を一体化させる加工。	溶接	ガス溶接	日本溶接協会	244社
			アーク溶接		
		ろう接	ろう付け		
			はんだ付け		
その他	-	熱処理	焼鈍	日本金属熱処理工業会	193社
			焼入れ・焼戻し		
		表面処理	溶射加工	全国鍍金工業組合連合会	1,360社
			鍍金		

(注)団体毎に同一企業が重複しているケースがある他、材料メーカーや商社等も含まれている。

(出所)各団体ホームページを基に弊社作成